

柏市のいじめの実態と 未然防止の取り組みについて



柏市教育委員会児童生徒課

報告

平成29年度いじめの状況調査

調査対象

平成29年度

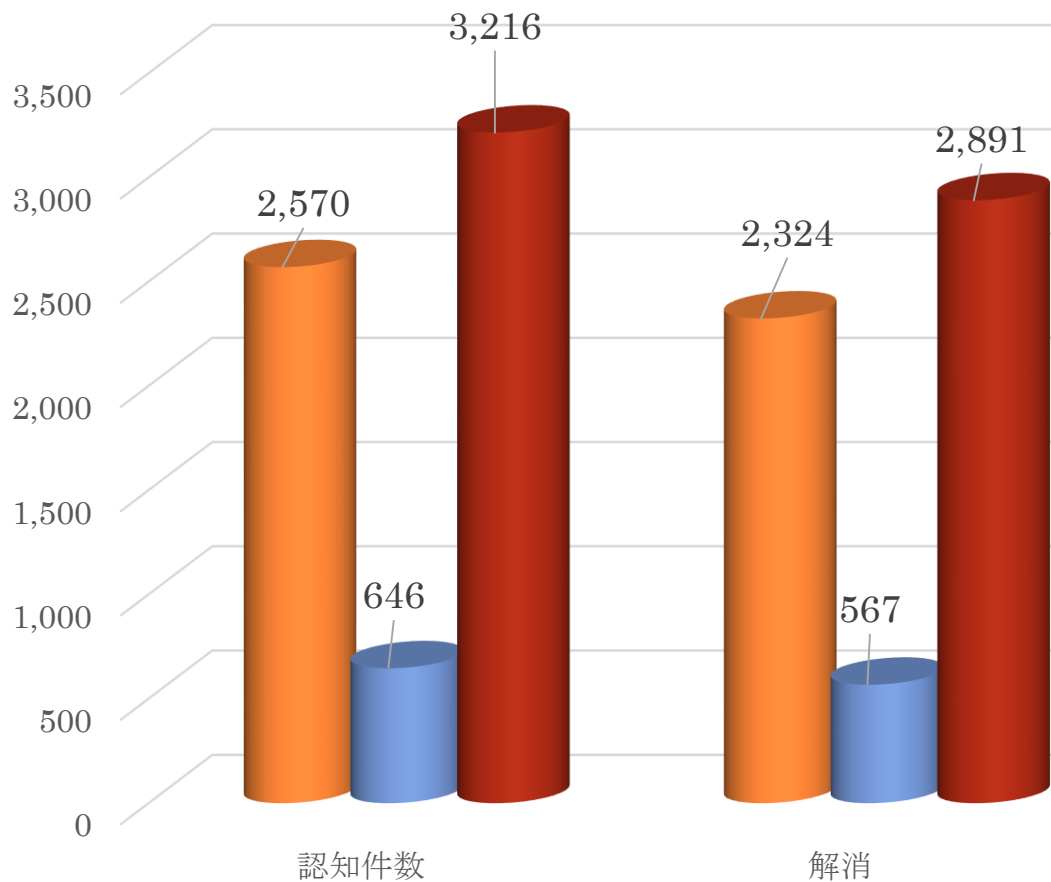
柏市内小学校 42校：21,935人

柏市内中学校 20校：9,998人

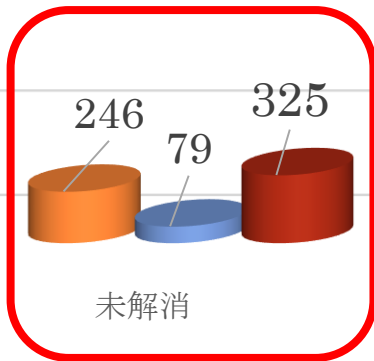
(生徒数:平成29年5月1日現在)

平成29年度 いじめの調査結果

	小学校	中学校	合計
認知件数	2,570	646	3,216
解消	2,324	567	2,891
未解消	246	79	325



解消率 89.9% (93.1%)
小学校 90.4% (92.7%)
中学校 87.7% (94.3%)
 ※()は昨年度



■ 小学校 ■ 中学校 ■ 合計

いじめの解消について

ア. いじめに係る行為の解消

被害者に対する心理的又は物理的な影響（インターネットを通じて行われるものを含む）が止んでいる状態が**3か月継続**していること。

イ. 被害児童生徒が心身の苦痛を受けていないこと

いじめが解消しているかどうかを判断する時点において、被害児童生徒がいじめの行為により**心身の苦痛を感じていない**と認められること。

いじめ認知件数の推移



1000人当たりのいじめの認知件数(件)

～平成28年度問題行動等調査と平成29年度柏市いじめ調査の比較～

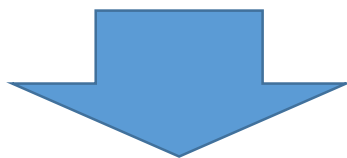
順位	都道府県	1000人当たりの認知件数(件)	認知件数(件)	解消率
1	京都府	96.8	26775	93.30%
2	宮崎県	85.7	10947	92.40%
3	宮城県	77.9	19288	93.40%
4	沖縄県	61.1	12482	92.80%
5	山形県	56.6	6740	89.10%
6	千葉県	49.7	32228	86.90%
	合計	23.9	323808	90.60%
	柏市	101	3216	89.90%

認知件数は
全国で最も多い

1000人当たりの
認知件数は
1位の京都よりも多い

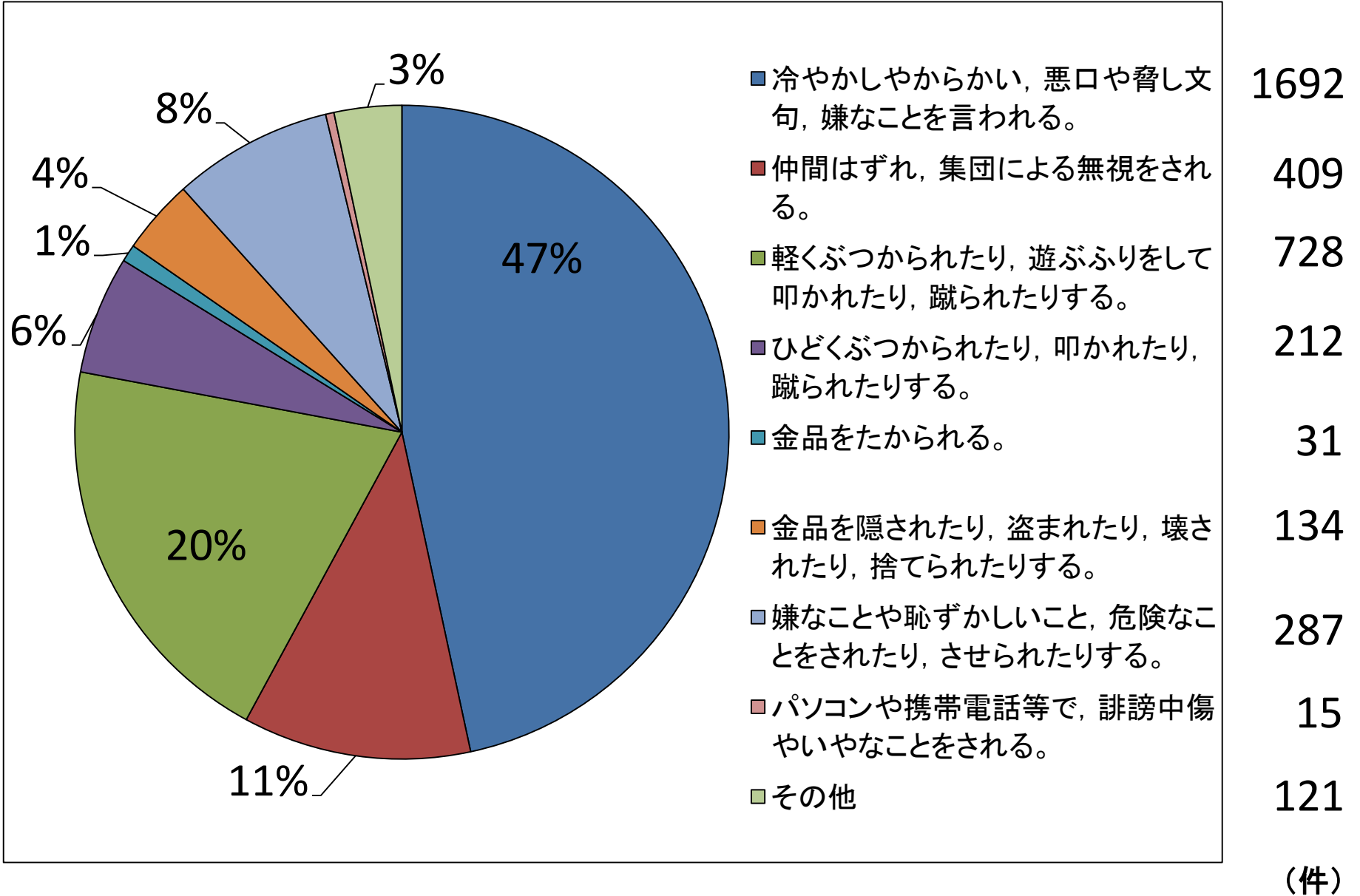
※柏市以外は平成28年度問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査の結果
柏市の認知件数については、平成29年度3学期いじめ調査の結果

いじめは「いつでも、どこでも、どの児童」にも起き得るという意識

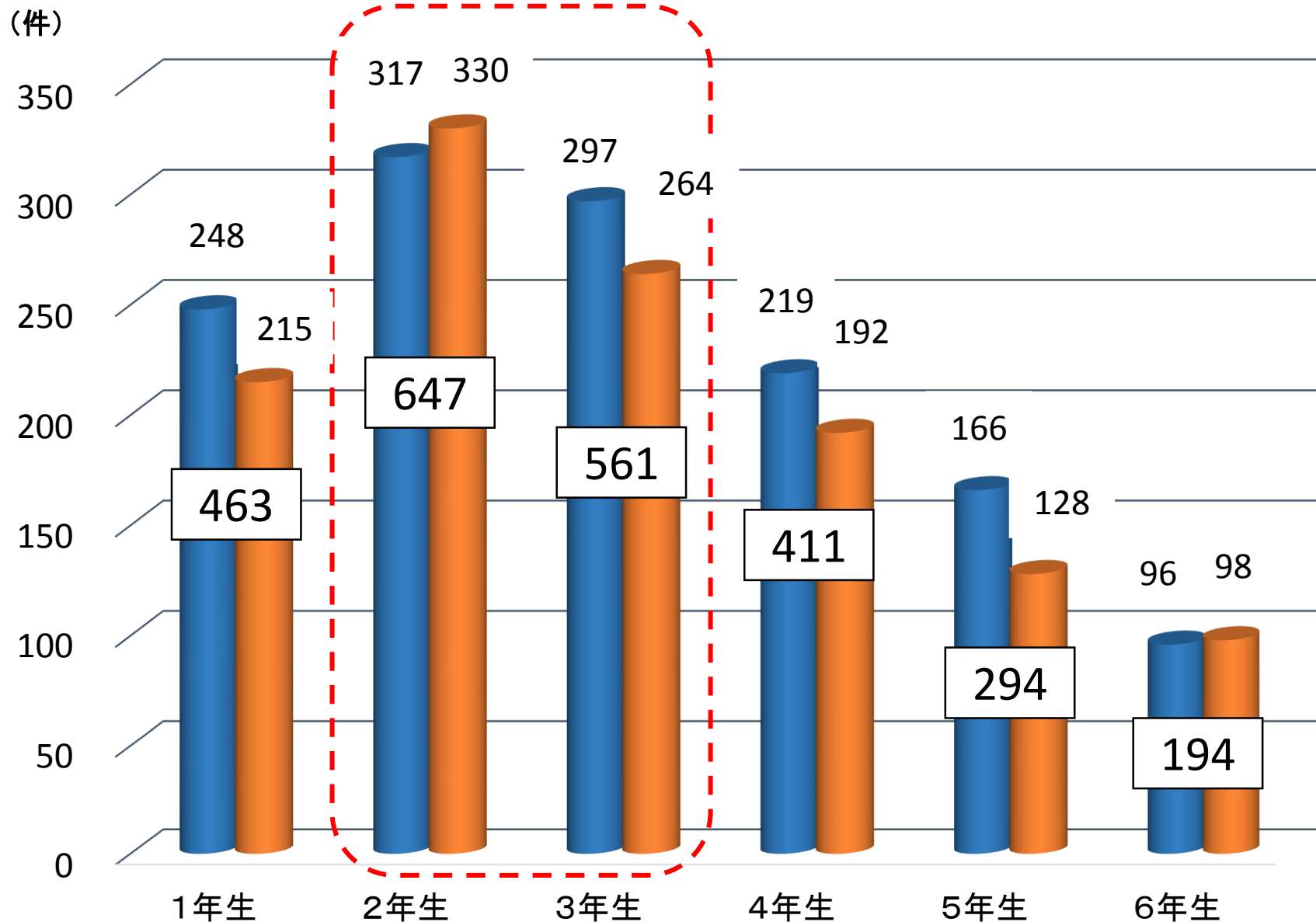


兆候を一早く把握し、的確
かつ迅速に対応

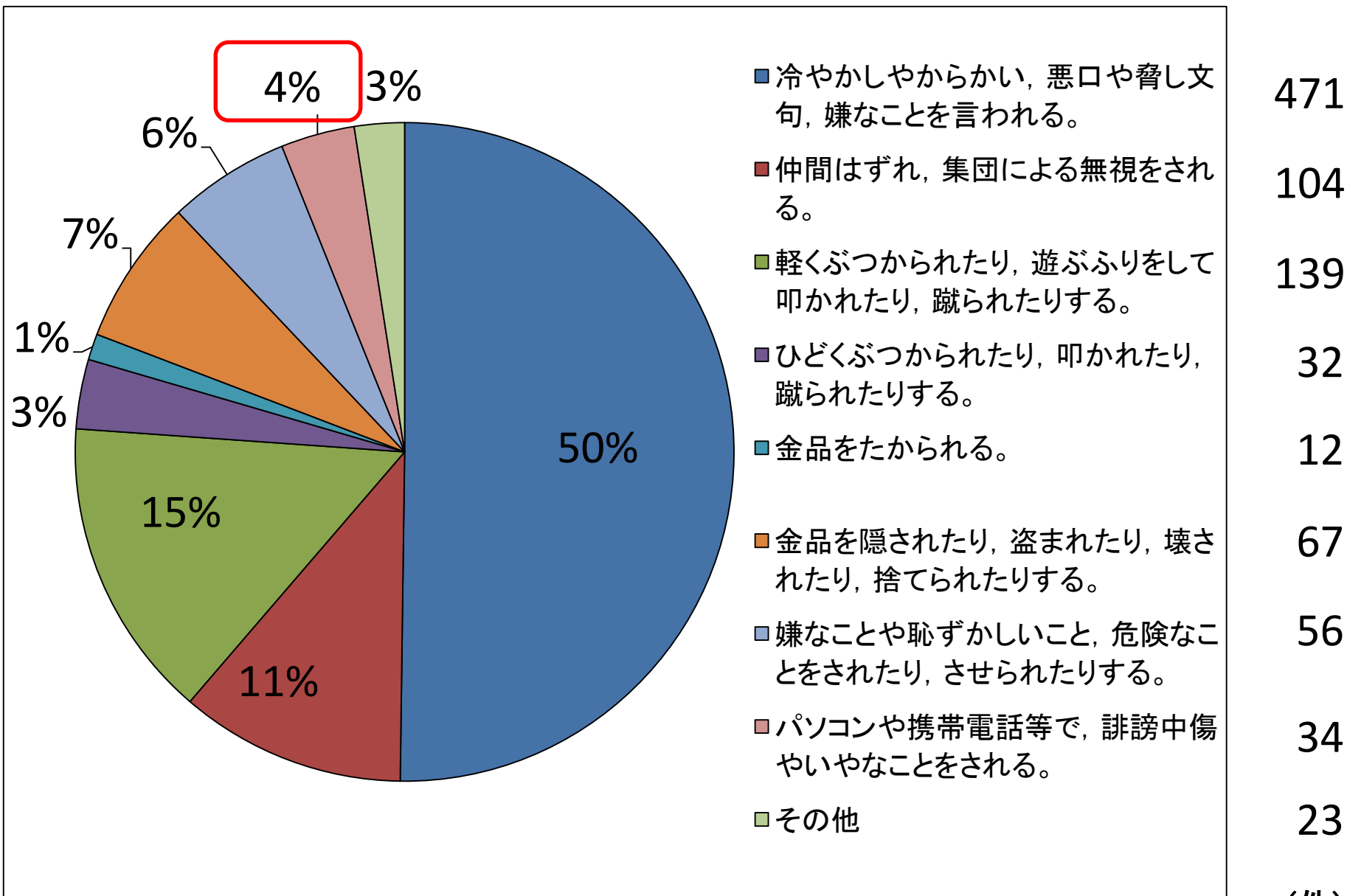
いじめの態様（小学校）



いじめの学年別内訳（小学校）

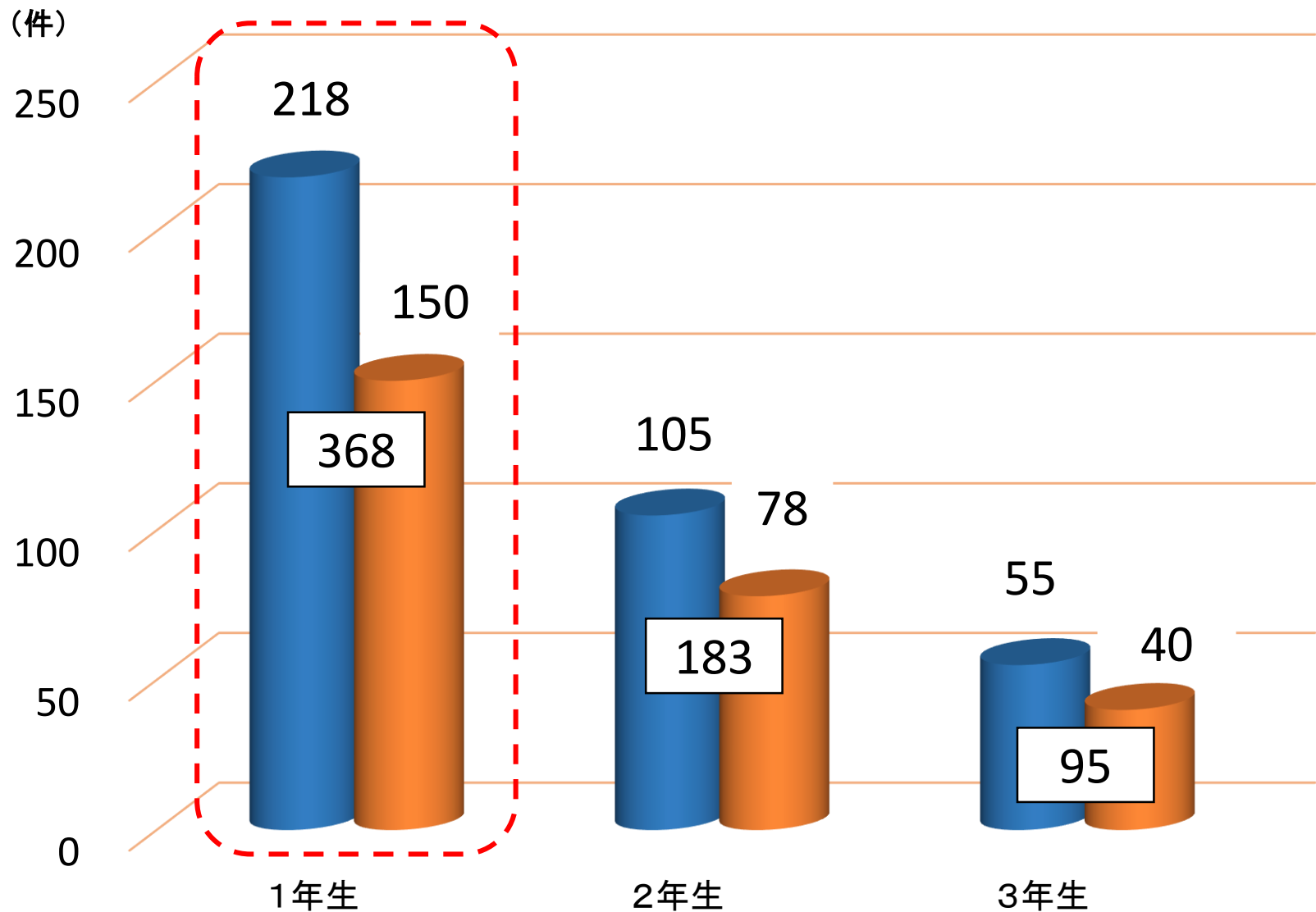


いじめの態様（中学校）



(件)

いじめの学年別内訳（中学校）



STOPitアプリ相談状況



•平成29年度相談件数

(5月22日から3月31日まで)

合計 133件

内訳 中1 102件

中2 22件

中3 9件

(学校に通報・・・23件)

ストップイット相談内容

1. 本人のいじめについて	37
2. 本人以外のいじめについて	11
3. 部活動について	10
4. ネットトラブルについて	8
5. 教員の指導について	16
6. その他の相談について	27
7. 相談以外(挨拶や問い合わせ等)	24
合計(件)	133

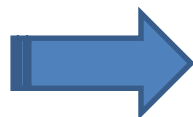
※平成29年5月22日～平成30年3月31日

パソコンや携帯で誹謗中傷や いやなことをされる (平成29年度いじめ調査より)

○中学校

平成28年度

合計 50件



平成29年度

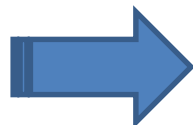
合計 34件

減少

○小学校

平成28年度

合計 9件



平成29年度

合計 15件

増加

いじめの未然防止の手立てとして

○全ての学校においていじめが認知されている

⇒(1)早期からの関わり・対応・指導が重要

○ベテラン教員の大量退職，若手教員の増加

⇒(2)教員一人ひとりの指導力の向上と

「チーム」での指導体制が必須

(1) 早期からの関わり・対応・指導が重要

① 「いじめ防止授業」の実施

「〇〇小をいじめのない学校にしよう」



柏市教育委員会児童生徒課

いじめ防止授業 昨年度の実績

小中学校 合計17校 116学級 3840人



多くの学校で実施することでいじめの未然防止・早期発見に努める。

2. 今日のじゆぎょうのかんそう

• いじめは本当にいけないことだと教えてくれたので。

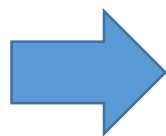
これからも、クラスを仲良くしていきたいです。

• いじめをしたら、大人になっちゃってしまうと、けいさつにいかまわ

れたりすることがあるので、いじめはやらないようにする。

さしほ、話の「いろいろのこじいがある」という
所が、ルビにひびきました。

わかってしまった人が一生こうかいするしやうされて
しまった人は、すみりせずにきずついたままくらさ
なくてはいならないから、おぼくもこんなことをしない
ように気をつけます。



- 『個性を認め合う雰囲気』づくり
- 『いじめの定義』の理解
- 『相談窓口』の紹介

② ネットいじめを許容しない集団の雰囲気醸成するための授業支援の実施

傍観者の視点でいじめを考え、議論する授業の実施

市内全中学校

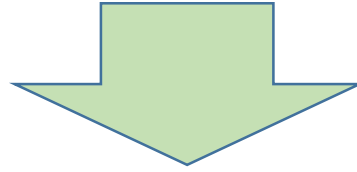
第1学年 全クラス



相談・報告しやすいアプリの提供(STOPit)

市内全中学校 全生徒





◎いじめを許容しない雰囲気醸成
○早期発見 ○抑止力

予防・介入により深刻な事態を防ぐ

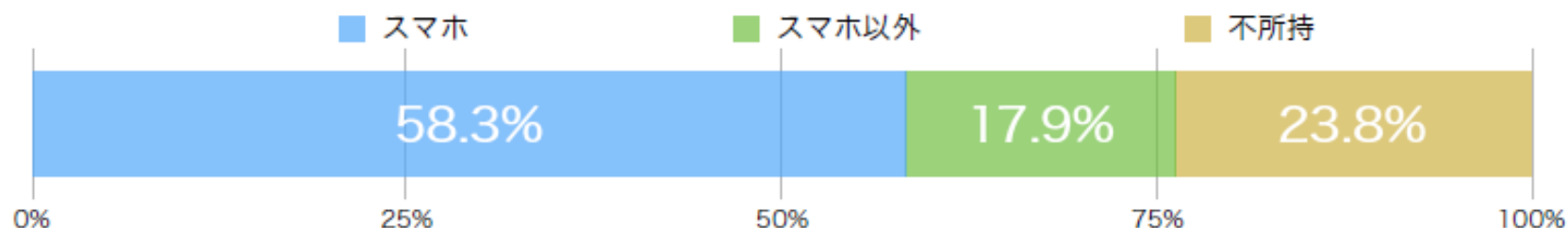
STOPit アンケートの分析について

いじめ脱傍観者プログラム「私たちの選択肢」 アンケート分析結果

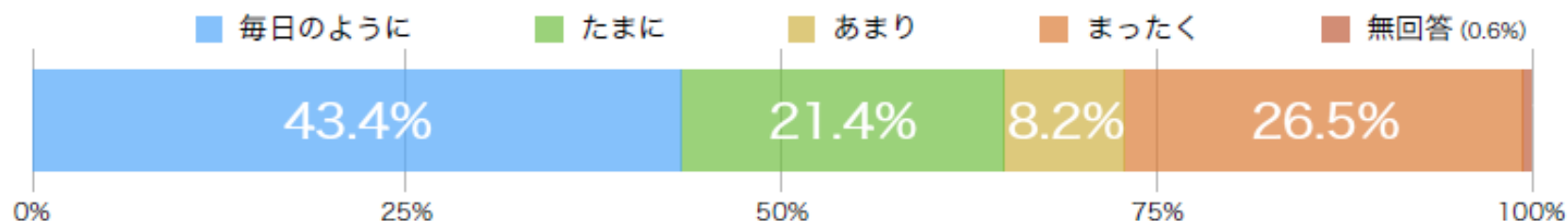
- 分析者：敬愛大学国際学部 准教授 阿部 学
- 対象：柏市立内公立中学校1年生18校分
生徒2,885名（すべてクラスごとに実施）
- 実施日：2017年5月～7月
- 授業者：NPO法人企業教育研究会

生徒について

Q1 自分専用の携帯電話を持っていますか？



Q2 メッセージをやりとりできるアプリを使っていますか？



スマホ利用に関しては多様な生徒がいる

▶スマホ所持の有無にかかわらず協働的に話し合えるかが鍵

授業のねらいについて

Q6 あなたが光さんの立場だったら、
クラスの雰囲気を変えるために何か行動できると思いますか？



生徒の感想

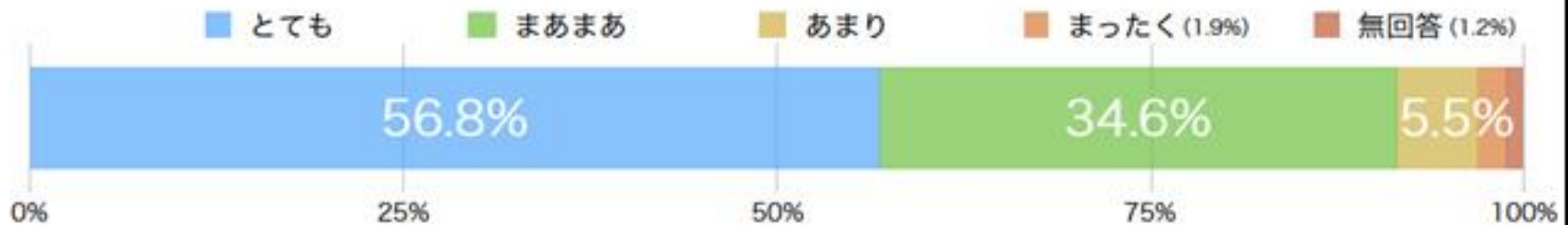
- ・ 言えない人もいると思うけど、私は自分の口で直接言います。
- ・ 一人で行動するのは無理かもしれないから、友達に相談して話し合う。

生徒の感想

- ・ はずかしい。
- ・ 自分がいじめのターゲットになったらいやだ。

▶多くの生徒にとって雰囲気を変えるために行動しようとするきっかけとなった。
一方で、行動しづらいという「本音」もある。

Q7 クラスでいじめが起こるかどうかは、
そのクラスの日頃の雰囲気の影響すると思われましたか？



▶授業のねらいとしていた点について、多くの生徒が肯定的な回答。
一方で、前項目のとおり重要性は分かって、
「行動」にまでは踏み出せないということがあるようだ。

生徒の感想

- ・ 現実に起こっていないから「自分ならこうする」など言えるけど、現実に起こったら、多分何もできないと思う。
- ・ 友達と協力して助けてあげられれば良いなって思った。けど、巻き込まれるのはやっぱりやだなって思った。

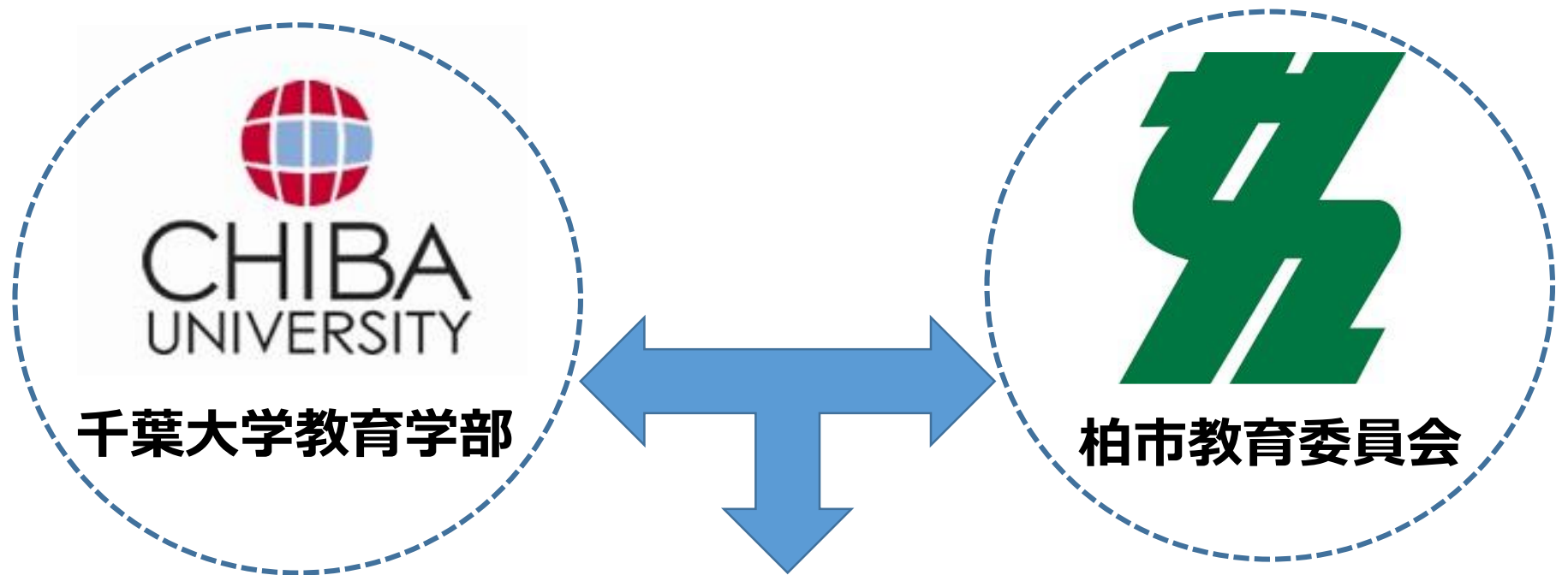
アンケート結果を分析し、よりよい授業支援の
あり方について検証する

- ・ いじめを許容しない集団の雰囲気醸成するための授業の実施（5～6月）及びネットモラル講演や情報モラル教育

- ・ 生徒へのアンケートの実施
⇒アプリの成果をしっかりと検証する。

- ・ 小学校への導入について
⇒モデル校に導入し、効果を検証する。
(いじめ防止授業の中で啓発)

③産官学連携による「SOSの出し方教育」を テーマとした授業の開発



ストップイットジャパン (株)



いじめ通報アプリ全国拡大

柏の中学校が導入し効果

中学生を対象にしたスマートフォン用の「いじめ通報アプリ」(STOPPEIT) (ストップイット)の活用が全国の自治体に広がっている。公立中のなかで昨年初めて導入した柏市で相談件数が急増し、効果を上げていることが影響しているとみられる。千葉大などは今後、いじめ対策の授業で使われる教材を産学官連携で増やしていく方針だ。

【橋本利昭】

米国発のアプリは、相談に比べて約5倍と国内で約6000校、なる1383件に急増。329万人が利用でき、4割(56件)は、いじめほど普及している。めやネットトラアルに国内では1トサービス、関する相談だった。会社「ストップイット」増の理由は、子供たち「シャパン」(東京)がのコミュニケーションツールとしてアプリが独占販売代理店契約を締結している。

柏市は昨年5月、市内の中学生が無料でダウンロードできるようウソロードできるようにして、昨年度は約1万人の対象者のうち4806人が登録した。いじめの相談件数は前年度の電話とメールでの

産学官が連携 授業の教材も開発



柏市の中学校で映像を見ながらいじめ対策についての授業を受ける生徒たち

やすいようにいじめ対策の授業も行っており、を、その様子をみている別の生徒の視点から教材は、同大や柏市教員などが産学官連携で、ストップイットとして開発したものだ。

教材の動画は、ソニー0枚など全国の教育関係者らに無償配布し、普及に努めた。

同大によると、アプリと授業を導入した自治体は野田、山武両市のほか、茨城県、神奈川県、岡山県などにも拡大し、今年度は利用可能な対象者が約100校5万人に広がる。道徳が今年度から小学校で正式教科となり、19年度には中学校でもスタートすることから、道徳の授業でも使えようSOSを発信するためのボウレンソウ教育や性的少数者(LGBTなど)をテーマに多様な性を理解する教育など新たな教材も今年度中に制作するという。

同大教育学部付属教員養成開発センター特別研究員でストップイットシャパンの谷山大三郎社長は「教育の力が大事だと思うので、相談する手段のアプリだけが普及するのではなく、いじめは許さない」ということを学ぶ授業とセットで広がってほしい」と話している。

【内容について】

① どうする!?! SOS ～ ホウレンソウ
(報告・連絡・相談)教育

② 自分らしく生きるって? ～ 多様な
性を理解する教育

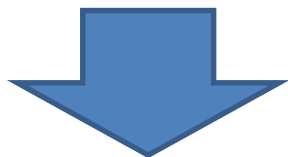
オーディションの様子（酒井根中学校にて）



柏市中学生演劇部と連携し作成中

(2) 教員一人ひとりの指導力の向上と 「チーム」での指導体制が必須

- 教職員に対する研修の充実
- 若手教諭や講師の経験不足のフォロー
- 学校の生徒指導体制(組織対応)の構築



人材の育成と派遣

教職員に対する研修について

- 生徒指導主任連絡協議会
- 教育相談担当者研修
- 学校警察連絡協議会研修
- 初任者研修
- 5年経験者研修
- 中堅教諭等資質向上研修
- 「性同一性障がいや性的指向・性自認に係る児童生徒への理解と対応」研修

生徒指導アドバイザー

◎経験豊富な管理職経験者が

- 若手教員や講師を中心に学級経営が不安定な担任のサポート
- いじめをはじめとする生徒指導上の問題解決に対する指導・助言

平成29年度

経験年数3年未満の講師について

経験年数	H27	H28	H29
1年未満	49	52	60
1～2年	37	37	33
2～3年	30	27	26
3年未満合計	116	116	119

今年度10名体制

小学校26校に派遣

スクールサポーターの配置

- スクールサポーターは学校の要請に基づき、児童生徒の非行防止や立ち直り支援、学校における安全確保を目的としている。

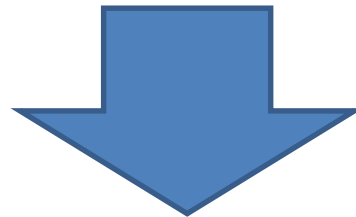


- 学校内外のパトロール活動への支援
- 対象児童生徒への指導及び助言

今年度7名 中学校5校に配置

スクールソーシャルワーカー(SSW)の活用

- 問題を抱えた児童生徒に対し、児童生徒が置かれた環境の問題(家族等)への働きかけや関係機関等の連絡調整を行う。



- 3つの中学校区及び学習相談室に6名配置
- 不登校・いじめ等の問題行動の要因に家庭環境が考えられるケースに対応
- 適切な指導・援助ができるスーパーバイザーを配置

柏市生徒指導問題対策支援チームの 派遣について

- 児童生徒課指導主事, スーパーバイザー, SSW等
がチームを組んで行う学校訪問

※問題行動の内容によっては各関係機関の職員にも参加を要請いたします。

- 授業参観, ケース会議, 職員研修を行う。



- 学校のいじめ防止対策の推進を図るとともに生徒指導の対応の人材育成も兼ねる。